



1 夏季合研の内容から

夏季合研、皆様のお力のおかげで、乗り切ることができました。アンケートを見ると、今年度の研究について肯定的なご意見をたくさんいただくことができました！ありがとうございました！

しかし、実証授業までの2カ月で、クリアしなければならない課題も明確になってきました。

【小林先生のご指導から】

① 三つの資質・能力について（基礎研究に関わること）

- 高跳びに特化して、児童の具体的な姿を突き詰めていかなければならない。
⇒ たくさんの児童の姿をイメージしながら検討を重ね授業をつくってほしい。

② 単元計画等（主に授業班に関わること）

- 第3学年、第4学年で分けて実践するよさを授業で示す。（1年間で実施する学校に対応できるようにする必要もある）
⇒ 体育科は低・中・高学年の3段階で指導する内容が示されているので、中学年では第4学年の終わりで児童がどのような姿になっている必要があるのかは理解しやすい。ただし、第3学年と第4学年の明確な区切りはないので、2学年間にわたって指導する場合には、第3学年の終わりで第4学年の始まりが決まる。しかし、提案する上では、第3学年はここまでだと明確に示す必要がある。第3学年は、第4学年よりも簡単な姿があるはずである。
- 学びに向かう力、人間性等については特に、2学年間にわたって指導していく内容も多いことから、第3学年から第4学年にかけて段階的に高めていくところを示してほしい。
- 児童の気持ち（特に苦手な子）に寄り添って、運動の特性に触れながら授業できるようにしていく。

③ 運動の内容等（主に学習資料班に関わること）

- 高跳ビンゴでは、児童に運動する楽しさを味わわせたい。また、競争する楽しさも味わわせたい。2学年間にわたって指導していく場合には、低学年との学習の接続が必要になるため、様々な跳び方に触れさせることも重要である。
- 高跳ビンゴのミッションは、回を重ねるごとチェックする項目が増えていく。それを児童同士で適切に判断できるのだろうか。課題が残る。
- つまづきがある児童らのことを考えてほしい。

④ そのほか

- 本部会のよさである、マニアックさ（専門性の高さ）は維持しつつ、体育を専門としない方々にも分かりやすい提案にしていく。

【協議会やアンケートから】

伊東先生、菊地先生お願いいたします。

2 実証授業までの見通し（部会で検討したものを記載しました。）

実証授業まで、今日を入れて7回程度の部会（資料印刷等の作業も含む）になると思います。だれが、いつまでに、どんなことをしておけばいいのか、明確にしておきましょう！

夏季合研の協議会記録や講師の先生からご指導、アンケートは必携！夏季合研を実証授業に生かしましょう！

実証授業まで	日程	内容		
		授業	学習資料	発表
あと6回	9月19日の週	単元計画を固める。 ※高跳びミッションの順序性により、事前授業をいくつかのパターンに分ける。 1単位時間の授業の流れ本決定	・ビンゴカード検討 ・リズム体操検討・実技研？	
事前授業①				
あと5回	10月2日の週 前半	事前授業まとめ 主体的・協働的な学びの姿の明確化	・ビンゴカード修正 ・4年生の場づくりのための技能分析（映像） ・リズム体操検討	
事前授業②				
あと4回	10月10日の週 後半	3年生の単元計画本決定 4年生の単元計画の検討	・ビンゴカード完成 ・実証授業用資料作成成分担 ・4年生の場の検討 ・リズム体操完成お披露目？	・発表原稿依頼 ・プロット案作成
あと3回	10月16日の週 後半	単元指導計画及び評価基準など、諸々の言葉の整理を行う。	・4年生の場の検討・修正 ・実証授業資料の修正	・発表原稿完成 ・実証授業資料取りまとめ ・原稿完成し次第、PPT作成開始
あと2回	10月23日の週 後半	・実証授業資料推敲、修正	・PPT修正	・実証授業資料推敲、修正
あと1回	11月2日（木）くらい？	・実証授業資料最終確認 ・印刷	・PPT最終チェック ・式次第作成	・実証授業資料最終確認 ・印刷
11月7日（火）	実証授業			

【各班の検討事項例】

（１）授業班

- ・ 三つの資質・能力を高跳びに特化した具体的な姿にする。（評価規準にもつながる）
⇒ ３年生と４年生とで分けるもの、２年間通して学んでいくものも明確にする。
- ・ ３年ならではの４年ならではの主体的・協働的な学習を実践する単元計画。
⇒ 今のものをもとに？高跳ビンゴで通す？
- ・ 分けても１年でもできる単元計画の提案。
- ・ 主体的な学習とは。そうなるための手立てとは？ 児童が楽しむことから始めるには？
- ・ 協働的な学習とは。そうなるための手立てとは？ 伝え合う姿はどんな様子？
- ・ 知る、工夫するを具体的に。なにを、どのように学んでいくのか。
- ・ 低学年、高学年との系統性の明確化。
- ・ 中学年の学習における課題解決をどのようにとらえるか。３年と４年で違いはあるか。
- ・ C規準の児童がどのように学んでいくのか。
- ・ 事前授業をだれがどのタイミングで、どのように行うか。

これらのことを明確にしながら、指導案を作成していく。

（２）学習資料班

- ・ 中学年で身に付けさせるべき技能は？３年生と４年生の違いは？中学年が運動を楽しむ姿は？
- ・ 走り高跳びと高跳びの違いを明確に。
- ・ 高跳ビンゴの取り組み方を詰める。
⇒ 高跳びの楽しさを味わわせる。競争の楽しさを味わわせる。記録への挑戦を楽しませる。
協働する必然性を児童が感じるには？ ３年生と４年生の違いもでるか？
何をどのようにして児童が見合うのか？ ビンゴカードの形は？ミッションは？
などなど
- ・ ジャンプウォーミングアップの内容は？
- ・ よい動きに気付く楽しい運動ではどんなことを行うのか。 ⇒ そのための技能分析！
- ・ できない児童へどのような支援をするのか。
- ・ 学習カードはどんなものを使う？学習資料は？

（３）発表班

- ・ 実証授業資料企画 ・ 運動例ファイル企画 ・ 発表原稿作成 ・ パワーポイント作成
- ・ 協議会の運営方法

今日の部会では、今後の検討すべき内容を班ごとに明確にさせていただき、実証授業までの見通しをもっていたいただければと考えています。時間があれば、具体的な話も進めていただきたいと思います。

発表班は、時間があったら、他の班に混ざっていただければと思います！

【部会での検討内容等 授業班】

班内での決定事項（学習資料班の動きによっては変更の可能性あり）

○単元計画

- ・1 単位時間の流れは、「JW→高跳ビンゴ①→振り返り→高跳ビンゴ②→振り返り」
- ・単元の1・2時間目は、競争を中心にして「もっと～したい」と思わせる授業にする。
- ・2 時間目の学習で、「うまくいったこと」、「もっとやってみたいこと」から「高跳び」に目を向けさせるような流れにする。3 時間目以降に課題可決的な学習の流れになるようにする。

○宿題について

- ・葛城先生、川村先生、生重先生・・・事前授業
- ・全員・・・単元計画の素案作成
→14 日の部会にて突き合わせて、単元計画を作成する。

【部会での検討内容等 学習資料班】

班内での決定事項（授業班の動きによっては変更の可能性あり）

○ビンゴカードについて

- ・ルールは簡単に。シンプルに。
- ・競争はグループ対グループで。
- ・1グループ4人程度。
- ・異質（上位・中位・下位等）でのグルーピング。
- ・ジャンプウォーミングアップは8の字跳びで毎時間行う。

○リズム体操について

- ・小林先生、齋藤先生、伊東で作成。

○宿題について

- ・高木先生、金井先生、伊賀上先生・・・ビンゴカード（学習カード）の素案の作成
- ・河村先生・・・事前授業の準備
- ・伊東・・・リズム体操の素案の作成、小林先生との連携

3 その他

- 次回くらいに、実証授業案内の送付準備をします！部員がいる自治体は、部員から送っていただきたいので、たくさんのご参加お願いいたします！
- 実証授業の役割分担、必要な道具など、運営の詳細も次回までにまとめます。
- 必要に応じて、班ごとの部会を開くこともあるかもしれません。
- 些細な点は部会ではなく、ボックス上やメール上でやり取りしましょう。部会で確認すべき議題が多い ため、可能な限り質の高い提案を部会にもってこられるように取り組みましょう。
- 業務量に隔たりがあった場合は、助け合いましょう。

4 次回以降の予定と宿題の確認

**次回は9月14日（木）18：30～
荒川区立第一日暮里小学校 です
宿題は、各班からの報告に記載しています。**